

科目名	精神医学Ⅱ					開講 キャンパス	神 埼
担当者	胸元孝夫						
開講年次	3	開講期	後期	単位数	2	必修・選択	選 択
授業の概要 及びねらい	精神保健福祉士として、精神保健福祉の相談援助を精神医療等の現場で行うために、基本的な知識とすべき対象疾患とその治療法を理解するとともに、精神科医療等の現場で活用される基礎知識について理解習得することを目標とする。また、精神科医療機関での実習を践りあるものとするねらいがある。						
授 業 の 到達目標	1) 知的障害の病態を理解できる。 2) 認知症の病態と治療法などについて理解できる。 3) 睡眠覚醒障害の病態、治療法を理解できる。 4) アルコール依存症や他の薬物依存症の病態と治療法を理解できる。 5) 精神疾患の治療法(薬物療法、電気けいれん療法、精神療法、精神科リハビリテーションなど)を理解できる。 6) 抗精神病薬の適応疾患や副作用について理解できる。 7) 精神科治療構造および専門病棟について理解できる。 8) 精神科治療における人権擁護について理解できる。 9) 精神保健福祉士が精神科チーム医療の一員として関わる際に担うべき役割を理解説明できる。 10) 精神医療と福祉及び関連機関との連携の重要性を理解できる。						
学習方法	パワーポイントを使った講義とDVDを使った視聴覚法						
テキスト及び参考書等	精神疾患とその治療、日本精神保健福祉士養成協会、中央法規出版						
評価基準・方法	到達目標					評価割合%	
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現			
定期試験							
小テスト等	◎	◎					70
宿題・授業外レポート							
授業態度				○			10
受講者の発表							
授業への参加度				◎			20
その他							
合 計							100
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
<b>授業計画 (学習内容・キーワードとスケジュール)</b>							
第1週	知的障害について(定義、成因、経過、社会的問題と支援)						
第2週	認知症についてその1(成因、症状、診断)						
第3週	認知症についてその2(治療法、治療経過、社会的問題)						
第4週	睡眠障害について(成因、症状、診断、治療法、経過)						
第5週	薬物依存症についてその1(アルコール依存)(成因、症状、診断、治療法、治療経過、社会的問題など)						
第6週	薬物依存症についてその2(他の薬物依存症について)						
第7週	精神疾患の治療法について(薬物療法など)						
第8週	まとめ③(DVDによる教示および小テスト並びにその解説)						
第9週	入院治療について①専門病棟						
第10週	入院治療について②入院形態と指定医、隔離・拘束について						
第11週	入院治療について③医療観察法の対象者と治療						
第12週	在宅医療について 訪問看護・アウトリーチについて						
第13週	統合失調症や気分障害の再発予防への取り組み						
第14週	チーム医療における医師と精神保健福祉士						
第15週	まとめ④(テスト並びにその解説)						
第16週							
備 考	定期テストの代わりに中間評価として2回のテストを行い評価の資料とする。平常点として、授業の態度、授業への参加度を評価し、テストの結果と総合して全体の評価をする。割合は上記表に示したとおりである。						